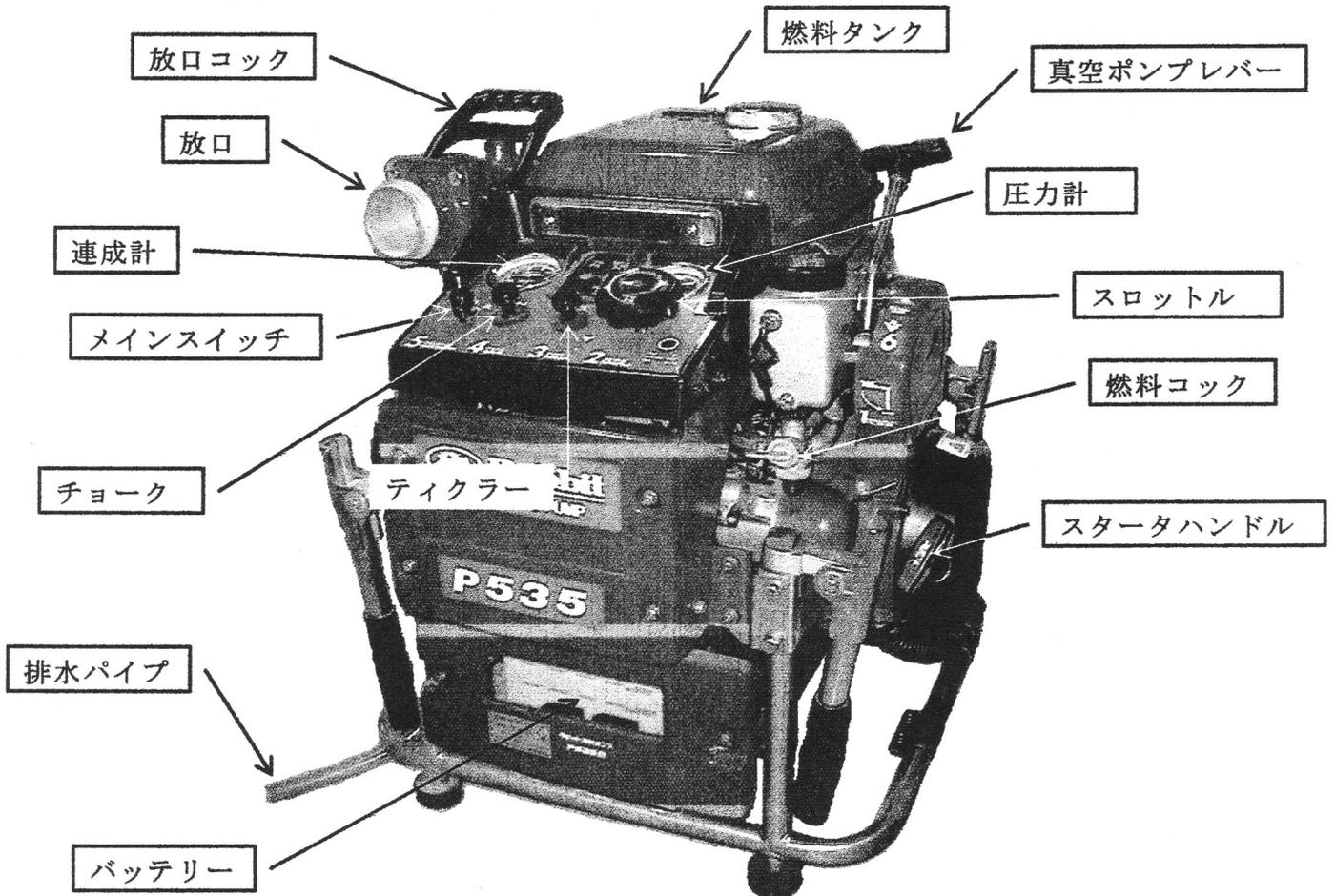


可搬ポンプ取扱要領

可搬消防ポンプとは、ポンプが車両を使用しないで人力により搬送され、又は、人力により牽引される車両若しくは自動車の車台に取り外しができるように取り付けられて搬送される動力消防ポンプをいう。

1 各部の名称



放水性能				
ポンプの級別	規格放水性能		高圧放水性能	
	規格放水圧力 (Mpa)	規格放水量 (m ³ /min)	高圧放水圧力 (Mpa)	高圧放水量 (m ³ /min)
A-2	0.85 ^k _{8.5}	2.0以上 ^{2000ℓ}	1.4 ¹⁴	1.4以上 ^{1400ℓ}
B-1	0.85 ^{8.5}	1.5以上 ^{1500ℓ}	1.4 ¹⁴	0.9以上 ^{900ℓ}
B-2	0.7 ^{7.0}	1.0以上 ^{1000ℓ}	1.0 ¹⁰	0.6以上
B-3	0.55 ^{5.5}	0.5以上 ^{500ℓ}	0.8 ⁸	0.25以上
C-1	0.5 ^{5.0}	0.35以上 ^{350ℓ}	0.7 ⁷	0.18以上
D-1	0.3 ^{3.0}	0.13以上 ^{130ℓ}		

2 取扱要領

(1) 始動

- ア 吸管及びホース等を結合する。
- イ 燃料コックを開き、必要に応じてティクラーを数回引いて燃料をオーバーフローさせる。
- ウ チョークを引き、スロットルを「始動」又は「起動」の位置としメインスイッチを入れ、セルスイッチを操作してエンジンを始動させる。
- エ セルモーターによる始動ができないときは、スロットルを「始動」又は「起動」の位置としメインスイッチを入れ、スタータハンドルを引いて始動させる。
- オ 回転が安定したらチョークを戻す。

(2) 吸水及び放水

- ア 放口コックを閉じる。
- イ スロットルを「吸水」又は「真空」位置にする。
- ウ 真空ポンプレバーを操作して、真空ポンプを作動させる。
- エ 真空ポンプの排水パイプから、水が連続的に排出するのを確認した後、真空ポンプレバーを元の位置に戻す。
- オ 圧力計指針の上昇を確かめてから、放口コックを徐々に開き全開にする。
- カ スロットルを操作し、送水圧力を調整する。

(3) 停止

- ア 放水の一時停止
 - エンジン停止することなく、スロットルを「低速」にしてから放口を閉じる。
- イ エンジンの停止
 - ① スロットルを「低速」にした後、放口レバーを閉じ、メインスイッチを「停止」にする。
 - ② 燃料コックを閉じる。
 - ③ ポンプ最下部のコック（ドレンコック）を開き、水を排出した後、再び閉める。

3 取扱上の注意事項

- (1) できるだけ地盤が固く、水平な場所に部署すること。
- (2) 夏季又はエンジンが暖まっているとき、チョークを使い過ぎると始動が困難になるので、注意すること。
- (3) 吸管はできるだけ曲がりを少なくするように延長し、防火水槽の投入口、棚、護岸の先端等、角部に接するときは、必ず枕木を使用すること。
- (4) 吸管の先端には、必ずストレーナ及びちりよけかごを取り付け、ごみ等を吸い込まないようにすること。
- (5) 吸管のストレーナ部は、水面から 30cm、底面から 15cm 以上離すこと。
- (6) 流れのある水利では、吸管のストレーナ部が、流れに逆らうように投入す

ること。

- (7) 放口コック及びスロットの操作はゆっくり行うこと。
- (8) 使用時以外は、吸水口に蓋をしておくこと。
- (9) 複数のポンプで中継して使用する場合は、先ポンプは元ポンプからの水が到着する前に起動しておくこと。通水前の運転は、長時間行わないこと。

4 点検・整備上の注意事項

- (1) 保管場所は湿気のある場所を避けること。
- (2) 燃料として混合ガソリンを使用する場合は、ガソリンとエンジン油を十分かくはんして混合すること。特に寒冷時は、2サイクルエンジン油がガソリンに溶け込み難いので注意すること。
- (3) バッテリーは、少なくとも月一回は補充電を行い、常に充電状態を保つこと。

5 放水体系図

筒先放水時のポンプ圧力について

ポンプ圧力=(ホースの摩擦損失×ホースの本数)+背圧+ノズル圧力

- (1) 40mm ホース 3本使用の場合

1本の摩擦損失 () × 3 =
背圧 (平坦の場合は0)
ノズル圧力 (0.3MP)

放水量による場合

200ℓ 0.2 × 0.2 × 1.5 = 0.06
300ℓ 0.3 × 0.3 × 1.5 = 0.13

- (2) 50mm ホース 3本使用の場合

1本の摩擦損失 (0.09 約 0.1MP) × 3 = 約 0.3MP
背圧 (平坦の場合は0)
ノズル圧力 (0.3MP)

- (3) 65mm ホース 3本使用の場合

1本の摩擦損失 (0.03MP) × 3 = 0.09 約 0.1MP
背圧 (平坦の場合は0)
ノズル圧力 (0.3MP)

